

ブナ林を守れ！

天然記念物の和泉葛城山ブナ林(コアゾーン)を守るために周囲の森林(バッファゾーン)を購入してトラスト活動を展開しています。

地球温暖化などの環境の変化によって、少なくなっていく和泉葛城山のブナ。地元の教育関係者らによる調査などで、指定当時(大正12年)には1800本あったブナの木が、現在では500本あまりに減ってきていることがあきらかになりました。このまま放っておいては現状さえ維持していくことがむずかしくなっています。そこで、私たちは府民のみなさんとともにブナの植栽や保育、調査などを和泉葛城山のブナ林を守る活動を実施しています。



ブナ林を守る取り組み

植栽するブナを育てるために種をみつめています。



ブナ種子採集

ブナの育苗・植栽・保育



種子採集で採れた種から発芽したブナの子どもたち。

自然観察ハイキング



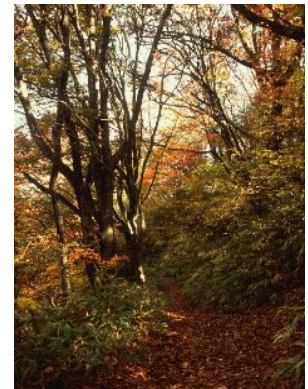
ブナ林調査



ブナの木がどこに何本あるかを調べてます。

新種発見！
あっ、こっちにも！

昆虫調査



森林・作業道などの整備